

「財布」

ボケ：ちょっと聞いてくれ、実は昨日財布落として

ツミ：それは痛いな そしたら今は一文なしか？

ボケ：いや、中身はあるけど財布だけがない

ツミ：えっどういう事？「財布は見つかったのに中身は無くなってた」はあるけど

ボケ：そりゃ落とした場所は分かってるから

ツミ：ちょっと待って、財布落とした時に気付いてたってこと？

ボケ：そりゃ気付くよ、落とした瞬間「ガシャーン」て碎け散ったからね

ツミ：財布の材質何やねん

ボケ：ガラスだと中の金額分かって便利でしょ

ツミ：デメリットの方がデカすぎるやろ

ボケ：たまにいるよね、財布にヒビ入ったまま使ってる奴

ツミ：スマホの画面か、おらんそんな奴 でも中身回収できたらまだマシやな

ボケ：どこが？

ツミ：普通の「財布落とす」はもっと大変やで、いろいろやらなアカンし

ボケ：破片を掃除したり？

ツミ：ガラスの時限定や 普通財布落としたらまずやる事あるやろ、

とりあえず自分がここまで通って来た道を思い出して・・・

ボケ：あーっ！… 高校の時、もっと勉強しておけば良かった

ツミ：「自分が通って来た道」って人生振り返るな

そんな時は冷静に行動や、まず、クレジットカード止めなあかんやろ

ボケ：止めるな、行かせてやれ

ツミ：どこにや カードを使えんように手続きせんと、勝手に使われたら困るやろ

ボケ：カレー作った後の鍋洗うのに使われたり

ツミ：カードで鍋のカレーをこそぎ落とすな！その使われ方も嫌やけど

あと、財布には免許証入れてたりするし

ボケ：そう、免許証はなくなると困る

ツミ：まあ面倒やけど再発行やな

ボケ：再発行では意味ない、アレには路上教習やら学科試験の

思い出がギッシリつまってるから

ツミ：免許証をメモリアルグッズにすんな

そんなに大事なら持ち歩かんと家にしまっとけ

ボケ：いや、いざという時にないと困るから

ツミ：急に運転する事なんかあんまりないやろ

ボケ：免許証ないと身分証ないからレンタルDVDに入会できない

ツミ：近所に急にTSUTAYA出来ん 圧倒的になくなり気味や

ボケ：でも近所に空地あったし

ツミ：そういう場合、決してお前の望む店舗は入らんから期待すんな

ボケ：じゃあ第2希望の自動車教習所で

ツミ：空地デカツ

ボケ：これでいつ免許証落としても安心

ツミ：コスパ悪すぎやろ そんな事よりこれからは財布落とさんようにせえよ

・ ・ 例えば、財布にウォレットチェーン付けるとか

ボケ：うーん、それはハードル高いな

ツミ：まあコーディネートが難しいかな

ボケ：あれってへそピアス開けるんでしょ？

ツミ：どこにチェーンつなぐつもりや！

ボケ：へそにつないでおけば落とした瞬間「イタイイタイイタイ」って気付くし

ツミ：つなぎ先はズボンでええやろ

ボケ：それだと財布落としたらズボンずり下がって、パンツ丸出しになるし

ツミ：財布重すぎやろ、今度の材質何やねん

ボケ：結局、財布もズボンも失うハメになる

ツミ：ズボンは失くさんやろ、足首に引っかかるし

ボケ：さらに靴も失った

ツミ：どんな負の連鎖やねん そんな目に会うんやったら財布だけ失くしとけ

ボケ：いや、財布大事だからへそピアス開ける

ツミ：結局採用すんのか

ボケ：でもその前に相談しないと

ツミ：誰にや？ そんなん自分で決めたらええやろ

ボケ：いや、へそピアス開けるのにお金かかるから財布と相談する

ツミ：もうええわ

両方：どうもありがとうございました

「TM」

ボケ：ちょっと頼みたいことがあって

ツミ：いきなり何？

ボケ：前から欲しかったやつが1台オークションに出てて、買いたいから金貸してくれ

ツミ：1台って車？バイク？

ボケ：いわゆるタイムマシンや

ツミ：詐欺やろそれ

ボケ：なんで疑うんや

ツミ：ホンマにそんな便利なもんあったら他人に売るわけないやろ

ボケ：それは俺も最初そう思ったけど、今回泣く泣く売りに出した理由が書いてあって

ツミ：どんな理由があったら納得できんねん

ボケ：どうやらタイムマシン買って真っ先に自分の未来が心配で見に行ったら

ツミ：まあ、最初の使い道としてはありがちな

ボケ：そしたら未来の自分はなんと、タイムマシンの35年ローンを滞納してた

ツミ：何を確認しに行ってるねん

ボケ：だから新品同様の値下がりしないうちに売り払いたいと

ツミ：そんな説明で納得すんな、大体そいつは誰からタイムマシン手に入れたんや

ボケ：その前のオーナーも同じ理由で手放したらしいわ

ツミ：なんでそいつも同じ使い方してんねん

ボケ：でもまだ新品同様やし、走行距離105年やって

ツミ：タイムマシンは走行距離「年」になるんや で、105年？ 105、、、、、、
って、35年ローン3人連続で失敗しとるやないか！

ボケ：3オーナーものか、これはちょっと値引きしてもらわなあかな

ツミ：そんでなんでどいつもこいつも金ないねん、タイムマシンあったらなんぼでも
金もうけできるやろが

ボケ：残念ながらそれは無理やな

ツミ：なんで？ 未来に行って株でもギャンブルでも結果見てきたら100%勝てるやろ

ボケ：それは出来ん、だってタイムパトロールが見張ってるからな

ツミ：タイムパトロール、そなんおるんや

ボケ：しかもタイムパトロールは未来の世界では憧れの職業のナンバーワンやから

ツミ：なんか響きカッコええしな

ボケ：だから未来では社会人の2人に1人がタイムパトロール

ツミ：誰でもなれたら憧れの職業ちゃうやろ

ボケ：誰でもなれるわけちゃうで、専門の学校があって入学試験もあるしな

ツミ：そのために勉強せなアカンのか

ボケ：赤本も他の大学の2倍の厚さがあるし

ツミ：赤本って受験対策用にその学校の過去5年分ぐらいの入試問題が載ってる

やつやろ？ 2倍の厚さってことはそれだけ入試科目が多いってこと？

ボケ：いや、入試問題が過去5年分と未来の5年分掲載されてる

ツミ：入試問題盗まれとるやないか、それがタイムマシンの不正利用や そういうのを

タイムパトロールが取り締まれ そんな赤本はさっさと対策取れや

ボケ：どうやって？

ツミ：そんなん問題が堂々と売られてるんやから次の年の入試問題変えたらしまいやろ

ボケ：それはできん

ツミ：なんで？バレてるんやから問題変えるしかないやろ

ボケ：問題を変えるということは未来を変えることになるから、タイムパトロールが
歴史に介入することは許されない

ツミ：なんでそこ杓子定規やねん、柔軟に処理せえや

ボケ：でも大丈夫や、たとえ入学できても校則が厳しいから

ツミ：あ、そうなんや

ボケ：規律が厳しい、特に時間には

ツミ：まあタイムパトロールやからな

ボケ：たといかなる理由があろうとも、遅刻3回で罰金

ツミ：退学ちゃうんか

ボケ：「タイムイズマネー」って言うぐらいやからな

ツミ：何言うとんねん

ボケ：「時は金なり」

ツミ：訳してくれんでもええねん

ボケ：今年出るで

ツミ：入試問題なんか 赤本買うな そんな問題やったら対策せんでも受かるやろ

ボケ：どうや、お前もタイムパトロール目指してみるか？

ツミ：なりたないわ、もうええわ

「バタフライエフェクト」

ボケ：なあ「バタフライエフェクト」って聞いた事ある？

ツミ：ああ、なんかざっくり言うと蝶の羽ばたきぐらいのことでもまわりまわって結果的に大きな変化が起きるとか、日本での「風が吹けば桶屋が儲かる」的なことやろ？

ボケ：それ達成したんやけど

ツミ：どういふことやねん、そういうのは狙って出来ることちゃうやろ

ボケ：でもそれで結果、世の中が良くなったから

ツミ：ホンマか？信じられんけどな

ボケ：まあ、聞けや まず世界を変えるために部屋を出て

ツミ：部屋の中おったら何も起きんからな

ボケ：あまりにも暑いからコンビニでアイス買って

ツミ：そんなんでも何か起こせるんか？

ボケ：で、食い終わったら棒だけ残るわな

ツミ：その説明いる？

ボケ：で、その棒をその辺の植え込みに突き刺して

ツミ：ゴミ箱に捨てろや！

ボケ：で、ここから世界が変わり始めたんや

ツミ：そんな事で？

ボケ：通りすがりの人々がその刺さった棒を見て「金魚のお墓」やと思うわけや

ツミ：庭に作るやろ自分の家の なんてそんなところに金魚の墓があると思うねん

ボケ：目の前の道路で轢かれたと思ったんやろな

ツミ：金魚は道路渡らん！

ボケ：夏祭りの金魚すくいの帰りだったのかも

ツミ：その場合、人ファーストで弔うやろ

ボケ：人を車からかばって犠牲になった金魚かもしれんやろ

ツミ：どういう状況や、小袋に入ってる分際で何が出来るねん

ボケ：じゃあ人も轢かれてたらアイスもう一本食わなアカンのか？

ツミ：人の墓はアイスの棒で作るな

ボケ：ハーゲンダッツでもか？

ツミ：高級アイスでもや、そもそもハーゲンダッツやったら棒ついてないやろ

ボケ：スプーンもらうに決まっとるやろ

ツミ：短いやろ

ボケ：もし店員がスプーンつけ忘れたらただではおかん 言ってやりますよ

「彼の死を弔う気持ちはないのか」って

ツミ：お前がな

ボケ：とにかく金魚の墓やと思って人々がお供え物をするわけや

ツミ：交通事故の現場ではそういうのあるけど

ボケ：花束やらジュースやら

ツミ：金魚はジュースいらんやろ

ボケ：確かに、水槽にオレンジジュース入れたら金魚が何匹おるかわからんようになる

ツミ：そういうことやないねん金魚死ぬやろ

ボケ：またアイス食わなあかんのか？

ツミ：墓の準備せんでええ

ボケ：「ガツンとみかん」置いてるかなあ？

ツミ：オレンジ味やけど とにかくジュースは要らんから

ボケ：そう、それでお供えは徐々にミネラルウォーターのペットボトルに

シフトしていく訳や

ツミ：まだ続いとったんか なんかもうどうでもええわ

ボケ：するとどうなるか

ツミ：何か起きるんか？

ボケ：猫が近寄らなくなる

ツミ：ペットボトルいっぱい並んでたら猫よけみたいになってるけど

ボケ：するとどうなるか

ツミ：続く？

ボケ：猫が減ったからネズミが増える

ツミ：そのくだり「風が吹けば桶屋が儲かる」に合流してないか？

今時ネズミが桶かじって穴あけたりせんやろ

ボケ：ネズミが増えるとどうなるか、警察の出番や

ツミ：それはないやろ、警察の業務に関係ないし

ボケ：速度違反の取り締まりを始める

ツミ：「ネズミとり」の意味が違うやろ

ボケ：するとどうなるか

ツミ：一応聞いたるわ

ボケ：警察が取り締まりやってるからその一帯では車がスピードを落とす

ツミ：まあまあ、そうなるか

ボケ：するとその辺りでは車の事故が減ると 結果、世の中が良くなりました

ツミ：何がバタフライエフェクト達成や！

そんな穴だらけの作戦でうまいこといくわけないやろ！

ボケ：穴が多いのは仕方ない、ネズミがかじったから

ツミ：最後だけ上手いこと言うな！もうええわ

「生か死か」

両方：はいどうも ○○です

ツミ：いやー今年は頑張っていかなとなあ言うてますけど

ボケ：それでこの前、死ぬ気で頑張ろうとしてうっかり死んでもうたんやけど

ツミ：待てや、じゃあ今どういう状態やねん

ボケ：たまたま生き返れた ビギナーズラックで

ツミ：ビギナーもラックも使い方おかしい 人生最初で最後のイベントやから

ボケ：まあプレッシャーを感じずに楽しんでやれたからな

ツミ：エンジョイ勢か なんて死んでそんなすぐ生き返ってんねん

ボケ：すぐっていうわけにはいかんよ まあ、しばらくの間ダウンタイムがあるけど

ツミ：どこイジったんや！

ボケ：だから今日は先輩としていろいろ教えたるわ

ツミ：全然信じられんけど、とりあえず聞いたるわ じゃあ死ぬ瞬間って

これまでの人生が走馬灯みたいに流れるっていうけど何が見えた？

ボケ：それはよく分からなかった

ツミ：実際はそんなんはないって事？

ボケ：いや、スキップしたから

ツミ：見ろや

ボケ：せっかく課金したし

ツミ：プランによっては見ずに済むもんなんか？

ボケ：でもせっかくやから次に流れてきたときは倍速で見たから

ツミ：1倍で見ろや、その後急ぎの用事ないやろ

ボケ：どうせ1回観たやつやし

ツミ：全員そうや 逆に見たことないシーンばかり流されても困るやろ

ボケ：何回も見ようと思ったらジブリ作品のクオリティがないと

ツミ：同じやつ何回も放送してるけど

ボケ：あとっておきたいのは、あらかじめ顔写真は撮っておいたほうがいいということ

ツミ：顔写真？ ああ遺影用ってこと？

ボケ：死んだら大空に自分の顔を写すから

ツミ：それは知り合いが、おのおの自分のタイミングで心の中でやるから

他の人間からしたら「知らん奴のでっかい顔出てる」は怪奇現象やろ

ボケ：せっかくやからこういう機会に大勢と知り合いになりたい

ツミ：遅いねん、生きてる時にやれや

ボケ：「コミュカおばけ」って言われたい

ツミ：「なんかこのオバケめっちゃしゃべりかけてくる」の事ちゃうねん

ボケ：とにかく、一回死んでみたらいろいろメリットあるから

ツミ：そんなんあるワケないやろ

ボケ：飲み会誘われて面倒くさいなあと思ったら喪中で断れるし

ツミ：本人のパターンはないねん

ボケ：あと生活費が節約できる

ツミ：どういうことや？

ボケ：家賃が安くすむ

ツミ：墓地の近くの家賃の安いところにでも住むんか

ボケ：むしろいい部屋に引っ越せるで

ツミ：売りたい芸人が取れて家賃の高い所に引っ越すのは聞いた事あるけど

ボケ：部屋借りてすぐ死んだら、その瞬間事故物件やから来月から家賃下がるやろ

ツミ：そうはいくか 死んだら出ていけ、居座るな

ボケ：そう簡単には追い出せんよ 弁護士資格を持った霊媒師を見つける必要があるから

ツミ：兼ね備える義務はないやろ そんなんバラで呼んだらしまいやろ

ボケ：あと生命保険入ってたから結構余裕がある

ツミ：受取人が本人の書類が通るか

ボケ：「思わぬ臨時収入でラッキー」って朝の星座占いで出てたし

ツミ：先に死んでんねん

ボケ：この際、投資始めてみよっかな

ツミ：死に際は「この際」とは言わんやろ

ボケ：保険金の賢い運用方法をマスターしたら保険金達人やな

ツミ：保険金殺人みたいになっとる そんなん保険金は貰えんから

ボケ：なんで？入院保障は受け取っても退院したから返せとは言われんやろ

ツミ：それとこれとは違うやろ

ボケ：死んだのが完治しただけやから

ツミ：治るか

ボケ：これで銀行口座の残高もうなぎ上り

ツミ：死んだら口座も凍結されるやろ

ボケ：それであの世に行ったら、まず入口で厳しいチェックを受けるから

ツミ：ああ、天国行きか地獄行きかを判定するやつやろ？

ボケ：もっと大事な事がある カバンの中を弁当や飲み物持ち込んでないかチェック

ツミ：入場した後、中で買わそうとしてんの？ だいたいあの世で食うもんなんかないやろ

ボケ：オバケかぼちゃとか

ツミ：やたらデカイだけで霊的な要素ないやろ

ボケ：それもハロウィン仕様やで？

ツミ：顔の形と中身くりぬかれて食うところ無くなってんねん

ボケ：あと死んだ後って体が疲れてないせいか夜なかなか寝られない

ツミ：寝る必要あんのか？

ボケ：だから寝付けない夜はひつぎの数を数える

ツミ：ひつじでええやろ

ボケ：「ひつぎが1基、ひつぎが2基」

ツミ：ひつぎは「1基、2基」って数えるんか タメになったわ

ボケ：自分1人で運ぶの大変やったわ

ツミ：実物用意せんでもええやろ

ボケ：だって「ワンオペかんおけ」やで？

ツミ：知るか！ そんな業務は頼んでないねん

ボケ：でもその後はぐっすり寝られるから

ツミ：それ1人で運んで疲れるからや それやったら棺である必要ないやろ

ボケ：そういえば運んだ棺、戻すの忘れてたから運ぶの手伝ってくれるか？

ツミ：こっちも殺そうとすんな もうええわ

「無人島」

ボケ：聞いてくれ ついに「無人島に持っていく物」問題を解決した

ツミ：それってよくある「無人島に1つだけ持っていけるとしたら何持っていく？」
ってやつか？解決ってどういうことかわからんけど

ボケ：まず確認だけど、こういう場合の1つで「スマホ」は「なし」かね？

ツミ：そうやな、スマホが使えるんやったらサバイバルの知識も調べられるし、
何より位置情報が出るし助けも呼べる万能アイテムやからな、
まあ無人島やし「電波が入らない」っていう理由もあって「なし」やろな

ボケ：そこでや、今回俺は無人島に1個、「電波の中継所」を持ち込むことにする

ツミ：1個のスケールでかすぎやろ

ボケ：これで無人島問題はジ・エンドな

ツミ：いやいや、まあ百歩譲ってそれが「1つ」やとしたらスマホは別やから
2つ目になるから持ち込めんけどそれでもええんか？

ボケ：それは望むところや、これは自分が犠牲になって他の人の為になる事業やから

ツミ：どういうこと？

ボケ：これから先は「無人島に1つだけ持っていけるとしたら何持っていく？」の
質問された人は「スマホを持ち込みます、電波が入るようになったから」って
即答できるようになるから

ツミ：そういう無人島って全員おなじみで共有してる1つの場所なん？

ボケ：この問題はずっと昔からあったわけで、いつか誰かが解決すべきだった

ツミ：そんな解決は誰も求めてないねん

ボケ：それを自分が犠牲になって成し遂げた、後続く皆は俺の赤羽を越えてくれ

ツミ：「屍を越える」やろ、赤羽越えても川口に着くだけや

ボケ：これもう偉人ですね、教科書載りますね

ツミ：危険な山にひとりでトンネル掘った人みたいな扱いにはならんやろ

ボケ：みんなに感謝されて、なんだったら次に無人島来た人が
俺の功績をたたえるために俺の銅像持ち込んでくれるかも

ツミ：「あつ森」みたいなシステムになっとるやないか

そもそも質問は「持っていくもの」やから手に持てるサイズでやってくれ

ボケ：じゃあ1つだけ持っていくとしたら自分の1番大事な物にするか

ツミ：1番大事な物？

ボケ：当然、マイナンバーカードやな

ツミ：大事かもしれんけど、そんなもん無人島に持って行ってどうすんねん

ボケ：知らんの？マイナンバーカードがあったらいろんな手続きができること

ツミ：何の手続きするつもりやねん

ボケ：そりゃ無人島に着いたらまず住民票移すでしょ

ツミ：脱出諦めるんか

ボケ：そうだったらそうだったで仕方ないからな

ツミ：マイナンバーカードあっても役所行かんと住民票移すの無理やで、役所行かん
でもできるのは住民票のプリントアウトぐらいや、そんなん使い道ないやろ

ボケ：じゃあ仕方ない、俺が頑張っこの島を住みやすい環境に変えていく

ツミ：まあせいぜい頑張ってくれ

ボケ：そのためには…選挙に出る

ツミ：「環境を変える」方向がちゃうやろ

ボケ：「えー皆様、わたくしこの度、無人島から立候補いたしました…」

ツミ：選挙活動すんな

ボケ：選挙を開催するために無人島に1つだけ持ち込むのは「投票箱」にする

ツミ：そんなんヤシの実くりぬいてなんとかせえ 選挙やったら投票用紙の方が大事やろ

ボケ：紙？そんなこともあろうかと俺の住民票をプリントアウトしておいたから

ツミ：最初から自分の名前が書いてある紙を投票用紙にすんな

ボケ：これで当選間違いなしや

ツミ：無人島で不正選挙すんな

ボケ：まあ、そもそも無人島でスマホが使えるようにした功績で人気者やし通るやろ

ツミ：それは無理やな

ボケ：なんで？地元に電波の中継所を誘致してバズったのに？

ツミ：お前がその島における限りは無人島じゃないから次の人は島に上陸できんやろ
だからその島に電波が入るようになったことは外の世界に一切広まってないからな

ボケ：じゃあ動画撮って配信するわ

ツミ：スマホはさっき取り上げたやろ

ボケ：そしたらお前のスマホ貸して

ツミ：俺はそこにおらんし貸さん、そもそも自分が言い出した事やろ

ボケ：じゃあ、お前が先に上陸して電波の中継所建てといてくれ

ツミ：なんでオレが犠牲にならなアカンねん、それで次に来るお前は何持って来るんや？

ボケ：お前の銅像持って来て建ててあげるから

ツミ：そんなんいるか もうええわ